起業家の応援を通じて地域活性化を
「地域クラウド交流会」5月16日開催

今月16日（木）に千葉市商工会議所にて第4回千葉地域クラウド交流会が開催される。

地域クラウド交流会とは「つながる。広がる。うまれる。」をテーマに、起業家の応援を通じて地域活性化を目指す交流会形式のイベントで、起業家だけでなく地域の人たちが参加することで、地域全体のビジネスの活性化を図っている。千葉市役所では開催された前回の第3回千葉地域クラウド交流会には139名が参加。これまで25都道府県外69市区町村にて合計1800回開催し、参加人数は延べ2万4406人の実績を誇る。

今回は、千葉県、千葉市、千葉商工会議所の後援を受け、笑顔のコミュニティー㈱主催、サイボウズ㈱協賛で開催。地域クラウド交流会としては全国で初めて「ソーシャルビジネス」をテーマに取り上げるという。会場となるのは、千葉市商工会議所14階第1ホール（所在地：千葉市中央区中央2～5）。開催日時は令和6年5月16日（木）18時開場。内容は18時～19時45分から関連イベントのクラウド勉強会（非営利株式会社eumo・新井和宏氏による講演。テーマは「共感コミュニティ通貨の地域活用事例紹介」について）、19時からはメインイベントの地域クラウド交流会。起業家プレゼンには、竹嶋信洋氏（NPO法人TSUGAプロ）、増淵佳奈子氏（NPO BRIGHTこども食）、石野誠氏（合同会社ぷらっとほーむ）、大谷明子氏（一般社団法人マザーズ・コンフォート）が登壇。その後、クラウド交流会タイムを経て応援投票、「応援し隊」の紹介やPR、応援投票結果発表、賞品授与式、21時からのアフター交流会などコンテンツが充実。参加費は税込千円で定員は150名。なおクラウド勉強会のみの参加は18時開場。内容は18時～19時45分から関連イベントのクラウド勉強会（非営利株式会社eumo・新井和宏氏による講演。テーマは「共感コミュニティ通貨の地域活用事例紹介」について）、19時からはメインイベントの地域クラウド交流会。起業家プレゼンには、竹嶋信洋氏（NPO法人TSUGAプロ）、増淵佳奈子氏（NPO BRIGHTこども食）、石野誠氏（合同会社ぷらっとほーむ）、大谷明子氏（一般社団法人マザーズ・コンフォート）が登壇。その後、クラウド交流会タイムを経て応援投票、「応援し隊」の紹介やPR、応援投票結果発表、賞品授与式、21時からのアフター交流会などコンテンツが充実。参加費は税込千円で定員は150名。なおクラウド勉強会のみの参加は無料としている。

起業家に興味がある人はもちろんのこと、起業家を応援したい人、起業に興味はなくても地域のつながりを持ちたい人など誰でも参加OK。事前の参加申し込みは不要ただ、人数の把握のため参加予定の方は左記QRコードから参加表明を。また当日参加も可能。問い合わせは、笠原のコミュニティー㈱☎080・4607・0707（担当 新田氏）へ。

千葉市では、多くの人にフェアトレードについて知ってもらおうと、今月、千葉市役所1階イベントスペースにて「千葉市フェアトレードウィーク2024」を開催。千葉市が取り組んでいるのは、①発展途上国の生産者や労働者の生活水準を向上させることを目的とした「インターナショナル・フェアトレード」、②地場の生産者や産業の活性化を支援する「ローカル・フェアトレード」、③障がいがある人が生産する製品やサービスを適正な価格で取引する「チャレンジド・フェアトレード」があげられる。

5月20日（月）～5月24日（金）のパネル展示では、千葉市が取り組む3つのフェアトレードの背景にある課題や問題点を千葉大学・神田外語大学の学生たちが取材して紹介。5月21日（火）18時～19時30分に開催されるフェアトレード夜間講座ではフェアトレードのあるライフスタイルを千葉県から広めることを目指して2009年に千葉フェアトレード・デー」と呼ばれ、それに合わせて日本では5月を「フェアトレード月間」として、発展途上国での貧困や過酷な児童労働を解消するために、製品や原材料などを適正な価格で購入しようという取組みだ。

5月はフェアトレード月間
千葉市フェアトレードウィーク2024開催

5月の第2土曜日は、「世界フェアトレード・デー」と呼ばれ、それに合わせて日本では5月を「フェアトレード月間」として、発展途上国での貧困や過酷な児童労働を解消するために、製品や原材料などを適正な価格で購入しようという取組みだ。

千葉市では、多くの人にフェアトレードについて知ってもらおうと、今月、千葉市役所1階イベントスペースにて「千葉市フェアトレードウィーク2024」を開催。千葉市が取り組んでいるのは、①発展途上国の生産者や労働者の生活水準を向上させることを目的とした「インターナショナル・フェアトレード」、②地場の生産者や産業の活性化を支援する「ローカル・フェアトレード」、③障がいがある人が生産する製品やサービスを適正な価格で取引する「チャレンジド・フェアトレード」があげられる。

5月20日（月）～5月24日（金）のパネル展示では、千葉市が取り組む3つのフェアトレードの背景にある課題や問題点を千葉大学・神田外語大学の学生たちが取材して紹介。5月21日（火）18時～19時30分に開催されるフェアトレード夜間講座ではフェアトレードのあるライフスタイルを千葉県から広めることを目指して2009年に「千葉